

テーマ

「世界遺産の現状と世界遺産としての縄文の価値」

第1部 基調講演 「世界遺産の現状」について

ユネスコ全権大使として担当された富士山・石見銀山・平泉登録時の状況などを交えて、世界遺産の現状についてお話しいたします。

木曾 功氏 略歴

内閣官房参与。文部科学省、文化庁、外務省などに勤務し、長年にわたり教育分野、国際分野で尽力。2002年文化庁文化財部長、2004年独立行政法人日本学術振興会理事、2007年文部科学省国際統括官を歴任。2010年にユネスコ日本政府代表部特命全権大使として世界遺産登録に向けた数々の施策を担当。2014年より現職。



第2部 パネルディスカッション 「世界遺産としての縄文の価値」

コーディネーター … 石森 秀三氏 (北海道開拓記念館館長)

パネラー … 西山 徳明氏 (北海道大学観光学高等研究センター長)

助言者 ……………… 木曾 功氏 (内閣官房参与)

阿部 千春氏 (函館市縄文文化交流センター館長)

高橋 理氏 (千歳市埋蔵文化財センター長)

大船遺跡、垣ノ島遺跡、キウス周堤墓群の紹介や、世界遺産としての縄文の価値のほか、世界遺産登録に向けて地域が取り組むべきこと、またその戦術などについてディスカッションを行います。

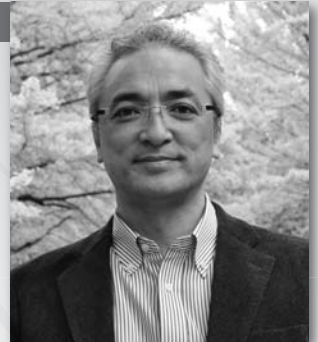
石森 秀三氏 略歴

北海道開拓記念館館長。京都大学人文科学研究所研究員、国立民族学博物館教授(文化資源研究センター長)、北海道大学観光学高等研究センター長を経て、2013年より現職。専攻は観光文明学、文化開発論、博物館学。北の縄文遺跡群などの文化遺産を活用した新たな観光のあり方を提言。「北の縄文文化を発信する会」代表幹事、「北の縄文道民会議」副代表。



西山 徳明氏 略歴

北海道大学観光学高等研究センター長。九州芸術工科大学教授、九州大学教授、国立民族学博物館客員助教授、北海道大学観光学高等研究センター教授などを経て、2013年から現職。専門は建築学、都市計画学、ツーリズム、文化遺産マネジメント。主な社会活動として文化庁文化審議会専門委員、文化庁「歴史文化基本構想(仮称)」策定技術指針に関する検討委員会委員、札幌市観光振興プラン検討会議議長などを歴任。



阿部 千春氏 略歴

函館市縄文文化交流センター館長。北海道埋蔵文化財センター勤務の後、南茅部町教育委員会に勤務、同埋蔵文化財調査室長、函館市教育委員会生涯学習部埋蔵文化財担当参事となり、2011年より現職。大船遺跡、垣ノ島遺跡の保存・整備や縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取組に従事し、地域と一体となって縄文文化の大切さを広めている。日本考古学協会会員。



高橋 理氏 略歴

千歳市埋蔵文化財センター長、札幌大学非常勤講師(博物館学)。千歳市サケのふるさと館勤務等を経て現職。地元のキウス周堤墓群に関する講演のほか、社団法人北海道アイヌ協会が主催し千歳市で開催した国際先住民の日記念事業において、「文化財から見るアイヌ文化」をテーマに講演。



■主催:北海道 ■共催:北海道教育委員会 ■後援:北の縄文道民会議

■お問い合わせ:北海道環境生活部くらし安全局 文化・スポーツ課 縄文世界遺産推進室
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL:(011)204-5168 FAX:(011)232-8695

Eメール kansei.bunspo1@pref.hokkaido.lg.jp

